

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	河内長野市保健計画策定委員会
2 開催日時	平成30年 7月 13日(金) 午後2時から
3 開催場所	河内長野市役所 3階 301会議室
4 会議の概要	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 委員長・副委員長の選出について</li><li>2. 河内長野市第4次保健計画(案)について</li><li>3. その他</li></ol>
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	なし
7 問い合わせ先	(担当課名) 保健福祉部 健康推進課 (内線 146)
8 その他	

## 第1回 河内長野市保健計画策定委員会 議事摘録

日時：平成30年7月13日(金)午後2時～午後3時

会場：市役所 301 会議室

議案：(1) 委員長・副委員長の選出について  
(2) 河内長野市第4次保健計画(案)について  
(3) その他

### 開会

- ・ 洞渕保健福祉部長 挨拶
- ・ 委員紹介(13名全員参加)  
事務局(早川課長、橋本主幹、岩井主幹、篠田主査、若林)
- ・ 委員会の公開について  
傍聴者2名(浦山議員、その他1名)

### 議案

#### (1) 委員長・副委員長の選出について

- 事務局 「河内長野市保健計画策定委員会運営規定」第4条2項の規定により、委員長、副委員長は委員の互選となっている。ご推薦、立候補があればお願いしたい。
- 築瀬委員 委員長に中林委員、副委員長に藤田委員を推薦したい。
- 事務局 築瀬委員から推薦の提案をいただいた。了承の方は拍手をお願いしたい。
- 一同了承 —
- 事務局 それでは委員長に中林委員、副委員長に藤田委員をお願いしたい。
- 中林委員長 円滑な議事進行に努めたい。皆様の忌憚のない意見をお願いしたい。
- 藤田副委員長 どうぞよろしくをお願いしたい。

#### (2) 河内長野市第4次保健計画(案)について

- 事務局 訂正資料1「河内長野市第4次保健計画の概要について(案)」基本的事項、現状の整理、訂正資料2「第3次保健計画の指標等に対する評価」について説明。
- 特に意見なし —
- 中林委員長 後程、改めて意見をお願いしたい。
- 事務局 訂正資料1「河内長野市第4次保健計画の概要について(案)」基本理念、基本方針、重要課題について説明。
- 峯委員 第4次の基本理念に意義があるわけではないが、第3次の基本理念から

- 若干変更したのはどのような理由か。
- 事務局 第3次の基本理念を継承しつつ、健康づくりの理念であることがより明確になるよう、「いきいき」の表現を「すこやか」とした。また、第3次では「まちづくり」としていたが、基本方針で「づくり」とし、基本理念では状態像を示すために「まち」とした。
- 中村委員長 言葉は時代とともに変わるものである。この表現で問題はないと思うが、いかがか。
- 一同了承 —
- 事務局 訂正資料1「河内長野市第4次保健計画の概要について（案）」主な取り組み、主な施策の目標値について説明。
- 石倉委員 朝食を欠食する人が多いのはなぜか。
- 事務局 アンケート調査の結果によると、欠食理由として「時間がない」が最も多かった。時間がない中でも食べてもらえるよう、工夫が求められる。
- 峯委員 新聞、テレビ等では、子どもの朝食の欠食の理由として経済的な要因もあると報道されている。河内長野市においても経済的な要因があるのではないか。
- 事務局 今回のアンケート結果からは実態把握はできていないが、そのような要因も考えられる。
- 峯委員 欠食している児童の身体的状況もフォローしていただきたい。可能であれば、学校の身体測定の結果と比較して掘り下げていくことも検討してほしい。
- 築瀬委員 薬剤師会では小学校でお薬教室を実施している。その際に人間が持っている自然治癒力の話をしているが、規則正しい生活と朝食の摂取が重要と伝えている。
- 洞淵委員 本年度中に子育てに係る担当課で子どもの貧困について実態把握をする予定である。その結果をみて、必要に応じて本計画に反映させたい。
- 伊木委員 第3次の現計画の評価で62項目のうち22項目が目標達成したことは素晴らしい。
- 一方、多くの市町村で問題になるのが中年男性である。ストレスは多く、朝食は欠食し、肥満は多い。河内長野市の中年男性はどのような状況か。中年男性の運動習慣者も増加しているが、どのような取り組みを進めたのか。
- 事務局 健康づくり推進委員が校区別に運動を進めている。また、山に囲まれて運動がしやすい環境にあり、身近なところにウォーキング、ランニングコースがあることも関係しているのではないか。
- 伊木委員 重要課題のAに「切れ目」のないと入っているが、背景にはどのような

- ことがあるのか。
- 事務局 現状で「切れ目」があるわけではない。妊娠届けを出された時点から子どもが育つ過程において、行政の意識として「切れ目」がないように支援する、という思いを込めている。
- 伊木委員 学校保健の管轄に入った途端に「切れ目」や「断絶」を感じる。学校保健との連携が改善されるとよい。
- 中林委員長 学校保健との「切れ目」ができないよう、どのような取り組みをしているのか。
- 事務局 未就学児で保健センターがフォローしていた児童については、就学しても継続した支援が可能なよう、教育委員会と話しあいの場を設けている。
- 峯委員 学校保健は養護教諭が詳しいと思うが、養護教諭と保健センターの専門職との定期的な意見交換はあるのか。小学校 6 年間、中学校 3 年間の 9 年間で捉えた中での情報交換が重要だと思うが。
- 事務局 定期的な意見交換はない。就学にあたっての連携は図っている。
- 齋藤委員 市が実施したがん検診の目標値を 26.4%としているが、市のがん検診以外で受診している人も含めた場合、受診率はどの程度なのか。推測値は算出していないのか。
- 事務局 推測値は算出していない。がんの種類によって異なると考えている。
- 峯委員 がん検診の目標値はどのように算定しているのか。
- 事務局 がん検診は 5 がんの平均値となっている。実際には、各がん検診の実績をベースに推計値を算出し、その平均値をここでは示している。本日の資料は概要版であり、5 がんの平均値となっているが、計画書では各がんの目標値を示している。
- 藤田副委員長 ここ 10 年で虫歯が減っている。最近では、虫歯のある児童について、その状況を何年も放置している場合はネグレクトを疑うようになっている。児童の集団検診が、家庭の状況を把握する役割も担っている。
- 事務局 計画期間について皆様に意見をお聞きしたい。現計画は計画期間を 8 年としているが、大阪府の第 3 次計画期末が平成 35 年のため、それにあわせて 6 年とすることも検討している。
- 永井委員 大阪府では今年度を期首とする保健医療に関する計画を 8 本策定した。その際に、高齢福祉の計画にあわせる形で計画期末が平成 35 年、計画期間を 6 年間に調整した。
- 中林委員長 庁内の上位計画や関連計画との整合も含めて、事務局で再度検討いただきたい。

(3) その他

事務局 策定スケジュールについて説明。

峯委員 2回で計画策定ということだが、従来ならばもう少し委員会を開催しているように思う。このスケジュールで議論が可能なのか。

中林委員長 このような意見があることを事務局で踏まえていただきたい。

保健計画は庁内の上位計画や関連計画との整合も含めて、事務局で再度検討いただきたい。

(以上)